でファイルをしている。今をしている。ひたすら時系20年以上、新聞のスクラッ

とても難し

いことである。

あ考に

しているが、

新聞は思いの外、

授業でなく、挨拶など活

合的な学習にも目標や年間指決まっているからである。総導計画があり、指導の時期もほれ込んでも、教科の年間指はれ込んでも、教科の年間指

斐的

クなものになってしまう。

一好奇心を揺さぶり、学び甲「授業は、子どもにとって知 のあるものに」が信条である。

ع

誰も実践できないマニアッ ような視点で教材化し

な

は多る。

特に新

聞

から学ぶこと

in Education 教育に新聞

〒 060-8711 札幌市中央区大通西 3 丁目 6 **☎** 011-210-5802 FAX 011-210-5826

北海道NIE推進協議会 発行

でもある。

すぐに

教材化

0)

高知で NIE 全国大会

新聞関係者等約800人が参加、「こどもが拓(ひら)くNIE 新聞活用 に根ざす学び求めて」をスローガンに、子どもたちが学習の主体となる 主管) が7月31日、8月1日の2日間、高知市で開かれた。 少年 回NIE全国大会(日本新聞教育文化財団主催、 党業などについて活発な意見を交わした。 -時代新

て記念講演した。 作聞 パネル討議では「新聞 家の山本一力氏が「生配達をしていたという 活用して育てる社会力

泰裕・教科調査官は「新 省初等中等教育局の大倉 えて」をテーマに4人の の充実で、これはNIE 指導要領の柱は言語活動 〜新しい教育課程を踏ま

る」と強調した。

の取り組みに追い風とな (関連記事2面)

を自力で仕上げるまでに 年生が卒業時の学級新聞 づくりを重ねた結果、 口加代子教諭は、「新聞高知市立江ノロ小の川 6

史新聞』づくり」をテー 実践発表などが行われた。 高校分科会では、県立高 をの理解深化と表現力向 上~日本史における『歴 上の日本史における『歴 との理解深化と表現力向 は、県立高 2日目の1日は6分科的関心が高まり社会力が、と説明した。

生徒たちは坂本龍が公開された。

門で見り

写可の

にした日本史Bの授業 教論は「作業・体験で生真を組み合わせ紙面を作った。担当の野中昭良作った。担当の野中昭良を付け、写 能性がある若い女性の写妻「お龍(りょう)」の可生徒たちは坂本龍馬の

が重要」と強調した。 また、 のスクラップ新 と徒が自主編集

高知新聞社など

全国の教育、

地域

高知工業高の出間制作について 家・山本氏が講高知出身の作 性化に役立って 告、「学校の 徒3人が実践報 いる」と説明 て 活 生

演した全国大会



で、新しいもの りだからかも知れ ない。この情報の もなが新聞の良 の記事が「生もの」 (る。それは新聞) それはので

幌 市 山 鼻 南 小 校長 田

ある。 能力) 合的な学習とはいかない。導計画があるので、何で、 3る。①目標(教科としてのね「教材化」には、次の視点が 何でも総

②実態(子どもの発達や

材料に変えること」と考えて

実は、新聞記事という

「教材化」とは、「素材を教え

の素材を教材にするの

ャンスは限られる。 度が落ちるので、

そのために書物、テレビ、新聞ために深い知識が必要になる。小学生の素朴な質問に答える教材研究をしっかりしたい。教えるプロの教師は、いつも

教材研究が必要で

作二 はじめに述べた はいかし、今こそ誰でも、どこでも が To 年に一回の改 まではないが、10年に一回の改 まずではないが、10年に一回の改 まずではないが、10年に一回の改 まずではないが、10年に、新聞を活った。 できる新聞を活用した教材 発をしたいものである。

実りの多い夏休み

。と・聞くこと・読むこと」の3 に対しているのではなり、国語は「話すこれでれた。新しい学習の内容がある。新学習指導要領の解説が示し ある。 が新設された。 対化ができそうで が新設された。 が新設された。 か ト、天気キャスター泣かか ト、天気キャスター泣かが ト、天気キャスター泣から による人的被害、東北地方の地震など子供たちに 大の指導技術を振りかずるよの指導技術を振りかずして教え込んでも残念しても考える人のでも残らいなイベン - ず腕を磨くために学びを に対応する能力は定着し 校門をくぐる子供 学期の教材の ながら急激な社会の変化 準備も整 たたち

理する力育

公開授業 報整

セミナー

道NIE 推進協議 読み取り、 にまとめ、

別学習を合わせた構成で、 見学学習した函館市・大 別学習を合わせた構成で、 日 員が参加。公開授業は、四 小中高校から約20人の教日 セミナーには、市内の

町・ピリカ、

語った「教育に頓服はない。記念講演で山本一力氏がえる暑さであった。しかし、えのとない。

理絵

ディスカッションでは、続いて行われたパネ

大ル

大会2日目

は、

土佐塾

中

われたパネ

る。川口氏の掲げるNIE川口加代子教諭の実践であのは、高知市立江ノ口小ののは、高知市立江ノ口小の変具体的な実践報告があった。

古畑

を加えた道南4遺跡につ を加えた道南4遺跡につ る内容。子どもたちは遺 などを新聞記事などから 発表した。 ワークシート 成 表現する力を育てたかっな現する力を育てたかっまり、情報を整理、れており、情報を整理、相で悪んに紹介さい。縄文期の遺 たい」と説明した。 に、このあとの授業では 歴史を組み合わせること 八教諭 北斗市上 社会の特徴を的確に 昨年5年の社一磯小の附田勇

=神山小6年3組

グループ調べで、深澤教諭に 熱心に質問し続ける子供も

一発展学習と米作以前の授業後、深澤教諭は わたって展開した内容をり上げた授業を12時間にえる情報」で、新聞を取 会科の単元

レベルが高く、毎年全恵山中は新聞づくり 毎年全道の

「くらしを支 の新聞づくりのコツを披英彦教諭は同校ならでは成績を収めている。中村かべ新聞コンクールで好

道 論は、1年国語科の「冬」。 七飯高校の高瀬容子教 楽した。

フィードバック授業につをまとめた一覧表によるスクラップの内容と評価 プづくりと、生徒たちの **した新聞記事のスクラッ** 休みの課題」として実施 題」として実施

徒 が 出 題 N Ι E ク 1 、 帯広西陵中郡 、 全 新 研 大 会 会 ·報告 で

助言者の舟越校長

生

ション力の深化」を主題 京都市内で開かれた。全 京都市内で開かれた。全 京都市内で開かれた。全 所西陵中の乙戸貴宏教諭 が「新聞を通し社会性を が「新聞を通し社会性を が「新聞を通し社会性を 新聞教育— を育 て心をつ コミュニケー なぐ

乙戸教諭は子供たちが

変えていきたい」と朝の 日の新聞から出題、「〇 日の新聞から出題、「〇 日の新聞から出題、「〇 日の新聞から出題、「〇 日の新聞から出題、「〇 日の新聞から出題、「〇 持ち、「新聞に目を向けがらないことに危機感を に付けさせ、子供たちをさせることで社会性を身

子供が解説する。 のは〇〇県」などの 「教員採用汚職があった 出題した の問題

さらに記事の

調べたり、記事を読み感い言葉に付せんを張って 分から

ことも活動の成果だというとて金本氏は、伝わらない、伝わらないがった。これに対感想が飛び出し、会場にも という子どもら かわからない班があって」階では「何を言っているの い正直な いるの

に伝えている点に感心した。る」と、導入の段階で明確書くについての活動をす

教諭が「今日は聞く・話す・ず、授業者である金本竜一 の公開授業を参観した。ま

会場のスクリーンには、生 となった生徒達は、記事の となった生徒達は、記事の となった生徒達は、記事の となった生徒達は、記事の となった生徒達は、記事が映し 今後の実践に役立てた の言葉を真摯に受け止

> この結果「教室内 想を書く活動を行 て

教諭(右)。左端は実践発表する乙戸 身近な存在にすべきだと 放長が「(実践は)新聞を 放長が「(実践は)新聞を 放長が「(実践は)新聞を か言者として十勝管内 べた。 さらに期待したい」と述訴えており、取り組みに に新聞に関するものが出この結果「教室内の会話 『幅』『量』ともに変化

が「新聞作りとNIEは 究協議会の鈴木伸男会長 開会式で全国新聞教育研 大会では発表に先立つ 子供による新聞作りの重車の両輪」とあいさつ、 車が (本間康裕・北海道新聞) 十重

アドバイザー会議

子化。 N I E J

アドバイザー会議がNI 主催の第2回全国NIE 日本新聞教育文化財団 NIE実践の裾野を広げ るには~新人発掘とネッ のためのNIEの活用方 法③「楽しく、簡単にで 時間にで

ザーの役割などにつ 1

このうち新学習指導要 に表し、判断し、表現す 思考し、判断し、表現す 思考し、判断し、表現す に表し、判断し、表現す に表し、判断し、表現す 有効さをもっと教育現場が可能となる」「NIEの 伝えるべきだ」

7

協議した。 3分科会のテー は ①

札幌市宮の森中教諭 く感じた。 は関いな事常に取り組 は動から始める小学 であるが、NIE活動 あるが、NIE活動初心者である。私は中学校教諭で

める小学校の実

組みやす

して、

めた。まとめの段示棒を手に次々と

楽しく簡潔な

役立つというものではな今日教えたことが明日すぐ

学ぶ③発信する、活動の方針は、①

親しむ②

の三項目

し、聴き入るうちに暑さもい」という言葉に私は共感

忘れた。 し、聴き入るうちに暑さも

E全国大会に参加し

校生は21人で、各学年考える構成。同校の在り、新聞記事を読んで面で写真や資料を見たとした型液晶画がより、新聞記事を読んでので写真や資料を見たのでのでは、サミット終

中認塗込み、白質を表して、脳の方に来たの方に来たの方に、

ミットの

下のテージ間目の2

2年

は

認した。また、G 8 や 整りつぶして位置を確 8 首脳の写真を画面で 8 首脳の写真を画面で の人?」。生徒たちはG トに来たのはどこの国 ドに来たではどこの国

間 目 は 1 年 0)

中国、インドなど略した。また、

洞爺湖サミット(主要国首脳会議)開催を機会に、札幌市定山渓中ではサミットを全学年の統一 テーマにした社会科の授業に取り組んだ。同じ題材を、生徒たちの発達段階に合わせて扱う、安孫子 和典教諭の意欲的な授業をリポートする (小田原賢二・北海道新聞NIE推進センター委員)



大型画面を使って、見て、読み、考えるサミット 授業 (3年)

てほしいこのサミット

ワー

・テー

ートに記している。

記え

サミットで話し合い。

つ年

を見たり、批判記事を見たり、批判記事を見たり、批判記事の写真では、サミットの意義にでいて考えよう」。生徒では、サミットの意義にでは、サミットの意義にでは、



広島県NIE推進協の 上 本 は、「 」 と述べ 上 では実践校によるNI と では実践校によるNI では実践校によるNI では実践校によるNI では実践校によるNI では実践を集めて ではっため学 ではっため学 ではまの優れた実践を集めて ではったの。 ではままででいる。 ではままででいる。 ではままででいる。 ではままででいる。 ではまるい。 ではままででいる。 ではままででいる。 ではままででいる。 ではままででいる。 ではままででいる。 ではままででいる。 ではままででいる。 ではままででいる。 ではままででいる。 でいる。 でいる。 と述べた。 と述べた。

会立っ 参道 加内 た 員か がら 目初

北海道NIE研究会主 「夏季研修会」 夏道 季 I 修 E が 8 広島県の 月 試み紹介

Eプラザで開かれた。特別参加した広島、 県NIE推進協学大 学院教授から同場での実践を踏加した広島、 中華記化の試みにといて報告などを を加いて報告などを を加いて記述した。 を加いている。 を加い

と強調した。

実践を継続することが大し、「NIEでは無理なく続けられる、よくあるくいのでは無理なりでは無理なりである。

すれば良いかを考えて、からのサミット取材の体験談などを聞き、これからサミット取材の体験談などを聞き、これからのサミットをどうからのサミットをどうがらのサミットを送った。

シー は「サミット参加国や首ンートに記入した感想生 徒 たち が ワー ク

の確とが表現の

議題について、記事認。洞爺湖サミット連動していることをその時代の社会情熱

まとめた。 ーをどう

ミットとは何か」をまと 経済力などを比較し「サ民総所得一覧表を見て、

ミットを画面で振り返て考えよう」。過去のサミットのテーマについ

トを勢マ返サいサ

楽しく理解できた」。

脳のことがよくわかった」(1年)「温暖化以外でも300年までをあるいと解決しない。 関題によって参加国をを大きらいい」(2年)「温暖化以外でも300か」(2年)「温暖化以外でも300か」(2年)「環境と関連は1年が地理、は「課題は1年が地理、2年を追って深めていくですが」と反応によって教諭というですが」と反応にあるようなサミットに出る参加した。同じテーマをがよくわかってがよりに、異ないとがよくわかってがいる。

で交わした。 三を国大会の報告が出席で開かれた第3回N 一をデーマにミニ講演、高 一をデーマにミニ講演、高 がは悪がいるで見がいる。 一をデーマにミニ講演、高 で開かれた第3回 の報告が出席 を表の段数に続き、北海 が出席 の報告が出席 の報告が出席 の報告が出席 の報告が出席 の報告が出席 の報告が出席

録したDVD「メディア高の授業(国語科)で収高の授業(国語科)で収

苫小牧民報社は、

づくりの出前講座や記者体験研修を職場で受け入れるなど、

幅広いNIE活動を展開して

ルを実施しているほか、

新聞

る大切さも知る。 現場として映る。 子どもたちに違っ

る。記録すどった編集 そうし

毎年秋小中学生を対象にした新聞コンクー

同社の取り組みについて寄稿してもらった。

央図書館に展示し、市民学校が47回目、小学校は9年代は、苫小牧市立中作品の応募があった。入作品の応募があった。入作品の応募があった。入りでは17 だります。 発行したことはあるものの、一歩進めて複数ページの「学校新聞」に取り 組んでみよう、と講習会の声が掛かった。 教諭に話し掛けた。いさつの後、生徒がいさつの後、終わり 任は室 委生に

頼まれ、出掛けたときの新聞作りのアドバイスを苦小牧市内の中学校で苦小牧市内の中学校では、通帳ってみようか」。 ことである。 主徒会報道常とである。教

生徒が担め 当あ に紹介している。学校に出掛ける出前講座は年2、3件。担当教育が代わったときが多い。新聞の役割から話を進め、新聞の役割から話を進め、新聞ので割から話を進め、新聞のででは、3件。担当教をど紙面の基本設計を

報報 社 取材が多いけど、

影、レイアウト、見出し者体験だ。取材、写真撮雷を製作してもらう。 記聞を製作してもらう。 記聞のいいのでは、実際に新聞受け入れるケースもあ問受け入れるケースもあ ち始めたことがうれしいち始めたことがう間に関心をは供たちが新聞に関心をは供たちが新聞に関心をはいます。 もつけて1~仕上げる。 心を

N 北見で来月 I \mathbf{E} セミナ 江差は20日 6

台小・菅原巧教諭、北 ▽発表者 網走市白 ▽発表者 網走市白

は桧山教育局、

発

開北見支社(北見市幸町七ミナーが9月6日(土) ・大後1時半から北海道新 ・大は、大田・オポーツク 1丁目2) 北見・オホーツク議会主催の第6回 で、 第 2 回 N

ヤミ 日(金)午經 + 10 -勝新聞

海道十勝 教研大会

月 17 日 更別 で

の年の第15回大会は熊本 開かれる。また、201 県民文化会館を主会場に また、201 来年7月 米年7月30(木)31(金)王催の第14回全国大会は日本新聞教育文化財団

来年 N I は Е 長野 全国大 市 で

者 網走教育局·堤茂樹市東相內中·飛澤節子教 底 北見市小泉中・山﨑 健太郎教諭、網走桂陽 高・川又則人教諭▽助言 ・川又則人教諭▽助言

れ別は 別村更 「ほっかいどうNIE 通信」は、北海道新聞 別中 ホームページ「NIE」 (www.doshin-nie.com/) で、バックナンバーか 单 で らご覧になれます。

手にして、彼らの顔がほけて出来上がった新聞をけて出来上がった新聞をけるだった新聞を

1ヶもある。記事を整理とスクラップ作りの取りとスクラップ作りの取り中学生には、写真撮影ころぶ。 して記録していく作業は、組みもある。記事を整理とスクラップ作りの取り中学生には、写真撮影 る。

(苫小牧民報社編集局かであり続けようと思う。教育現場のサポ ーター なっている、と信じてた体験が生きた教材

は次の通り実践例ので セミナー

発表者と助

江差・桧山

IE江差・桧山セミナー (1) 日 (1)

幹員指 会導 ・主

木野村寧指導室主事、北見市教育委

北見・オホーツク は網走教育局と北見、 市教委の後援で、

きっかけに

ール出品も

編集後記

楽出し前

月30日、

明野中で)

前講 み 座。 6

子供たちとの交流

○…NIE全国大会のスローガン は「こどもが拓くNIE 地域に 根ざす学び求めて」。会場ではN I Eの先駆け県といわれる高知に ふさわしいと話題になった。

○…高知では、地元紙と学校が一

体となった教育活動の長い歴史が ある。スローガンには、教師の援 助で子どもが新聞を活用し、自ら の知的世界を拓いていって欲しい との願いが込められており、大会 運営にも見事に反映されていた。 〇…総合司会は土佐女子高の生徒 2人が担当。初日の会場では県内 8校の高校生記者たちが参加者ら の取材に走り回り、記念紙を発行 した。高校生による実践発表もあ

り、いずれも好評だった。 〇…子どもの知的世界は身の回り を知ることから始まる。郷土を調 べることで新聞に親しみ、物事を しっかり考える力を身につけて欲 しい。郷土愛に燃える主催者たち の思いを、高知の暑さ以上に感じ (小) た大会だった。